

# 学校教育目標

## 「心豊かな子 進んで学ぶ子 健康な子」

### 研究主題

「自他のよさを認め、よりよい人間関係を築くことができる児童の育成」  
～協働的な学びを通して、児童が自分の変容を実感できる体育・道徳指導の研究～



### 目指す児童像

- 学ぶ意欲をもち、進んで学習に取り組む子
- 互いに認め合って活動する子
- 自分のめあてをもち、努力する子

### 研究の視点と手立て

#### 視点1

「わかる」・「できる」・「考える」ための授業づくり  
自分の変容を実感する工夫

- 手立て① ICTの活用
- 手立て② 振り返る場、時間の充実

#### 視点2

「認め合う」授業づくり  
協働的な活動を通して、認め合い高め合う工夫

- 手立て① 学習形態の工夫
- 手立て② 教師の声掛けの工夫

#### 視点3

「認め合う」環境づくり  
お互いを認め合って学ぶための環境の工夫

- 手立て① 認め合うための掲示物づくり
- 手立て② 認め合うための場づくり

①ICTを使用してお互いの動きを見合う



①意図的なグルーピングによる活動



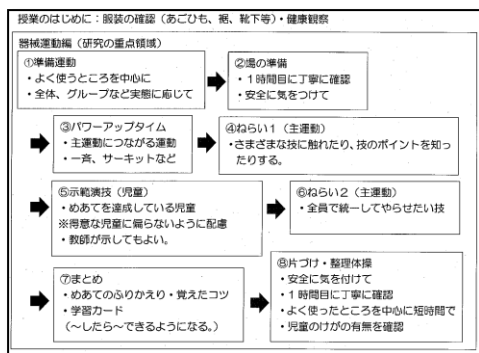
②感謝の気持ちを伝えるプロジェクト



## 専門部の活動

### ☆授業研究部

上小スタンダード  
誰もが体育の授業をできるように、一連の流れと活動の際の留意点を作成しました。



技能の研究シート  
指導前に児童の「つまずき」を予想し、教師が的確な声掛けができるようにしました。

- 1 わざ：開脚跳び
- 2 わざの系統  
(支持でまたぎのり、またぎのり→馬跳び→開脚跳び)
- 3 わざのポイント
  - ①踏切→両足のつま先で「トン」と踏み切る。
  - ②空中姿勢→おしりを高く上げる
  - ③着手→跳び箱の奥に手をつく。手より前へ肩を出す。
- 4 指導のスムーズステップ
  - ①とびのり、とびおり
  - ②またぎこし
  - ③1段→3段で開脚跳び
  - ④補助開脚跳び
  - ⑤開脚跳び
- 5 よくあるつまずきと具体的な教師の声掛け
  - ①手を奥につけない  
→手は線より奥につこうね  
→踏切板にはつま先で乗ろうね

### ☆環境整備部

ワークシート  
低・中・高のブロックごとに形式を作成し、実態に応じた振り返りができるようにしました。

日	めあて	今日の学習の振り返り	心の振り返り (「つまずること、～できる」と書けるといいですね。)
①	めあて	楽しく運動が 慣れ・覚えたい ルールやマナーを守って めあてをもちんで 技の達成度	◎ ○ △
②	めあて	楽しく運動が 慣れ・覚えたい ルールやマナーを守って めあてをもちんで 技の達成度	◎ ○ △

用具の整備  
視覚的に動きを捉えられるように、体育の用具の整備を行いました。



### ☆調査統計部

技能調査  
児童の体育の技能について、指導の参考になるような申し送り事項を作成しました。

**4 体育技能調査（児童の実態）**  
★児童の技能の簡単な実態です。指導の参考にしてください。

	鉄棒	マット	跳び箱
1年	前回り下り：9割以上	前回り：9割以上	開脚跳び：9割以上
2年	前回り下り：9割以上 逆上がり：約5割	前回り：9割以上 後ろ回り：約6割	開脚跳び：9割以上

アンケート  
児童の変容を見るために作成しました。主に体育についてアンケートを取りました。

**体育アンケート（4～6年生用）**  
年 組 名 前

★当てはまる ところに ○ を つけましょう。  
そう思う→1 だいたいそう思う→2 あまりそう思わない→3 そう思わない→4

- 運動が 好きです。  
1・2・3・4
- 外遊びが 好きです。  
1・2・3・4
- 体育の学習が 好きです。  
1・2・3・4
- 体育の学習が 楽しいと 感じるのは どのときですか。  
(いくつ 丸をつけても よいです)

  - 1 運動のやり方が わかったとき
  - 2 自分の記録が伸びたり 技ができるようになったとき
  - 3 友達と協力して 記録できたとき
  - 4 友達や先生に 励まされたとき 認められたとき

### ☆人権教育部

階段掲示  
ふわふわ言葉を50音で掲示しました。



人権コーナー  
人権標語や人権作文を掲示しました。

